

- 実施主体：ミネベアミツミ株式会社及び京都大学
- 実施場所：地蔵トンネル（京都府宮津市・山陰近畿自動車道）
- 目指す未来：



スマートインフラによる手作業のない予防点検・持続可能なインフラの実現

（手作業での点検所要時間100分を1分に。作業者の安心安全も実現する次世代インフラ点検）

- 事業内容：

無線電力を用いた遠隔でのボルトのゆるみ監視・災害予防・保全作業の簡易化



特区事業のメリット

特定実験試験局の手続きが迅速化することで、実証実験の円滑な実施が可能に！無線電力を用いた最先端の研究開発成果の社会実装を加速化できる！

世界最先端の技術であるマイクロ波無線送電により、社会インフラの防災システムを実現！